

◆団体系
NPO法人ふみ月の会 ふみ月チャレンジ染地

◆助成金額
93,960円

◆助成内容
知的障がいのある中高生が下校後、プレザーやスカート・ズボンにハンガークラークの先手の訓練をして、施設で実証的に使用する特注型ハンガークラーク費用を助成

◆理念および教育方針
「基本理念 利用者とひとりの自立」に向け、きめこまやかな教育を行い、困難な課題にも取り組む「生き生き力を育て、認められる喜びを自覚に繋げていくことを目指しています」

◆教育方針
1. 基本的な生活習慣を養育する。
2. 集中する力を持続する力を身に付ける。
3. 一人ひとりに応じたコミュニケーションの力を身に付ける。
4. 対人関係・社会性・柔軟性を高める。

◆基本情報
対象者 知的障がいのある中学生、高校生で児童福祉施設受給者証をお持ちの方

サービス内容 1. 放課後の活動

2. 第2・4土曜日の活動

3. 長期休暇の活動

4. 遠遊

開所日 月・金曜日、第2・4土曜日、日曜日(行事日のみ)

開所時間 平日 放課後～18:00

土曜日、長期休暇 10:00～16:00

◆団体系
こりょう子ども食堂わいわい 64,596円

◆助成内容
孤食の子どもたちのために「手作りのおいしい料理を、色んな人と一緒に味わい、楽しく食事をする」場所と時間を提供する為の炊飯器や台所の費用の助成

◆団体の設立目的
食事を提供するだけでなく、生きる力を育むために、地域の大人の情眼などを伝え、地域の中で子どもを育み、笑顔の溢れる共に生きていく積極的な地域を目指します。

◆基本情報
開催日 月1回(週末土曜または日曜) 11:30～13:00

会場 放課後等デイサービスぱちょうふの風(1)

(国市市国領3-8-15 ぐすのきサービスアパート5号棟 114)

構成メンバー 国領小学校区の住民、民生委員、保母会、地区協議会、福祉施設スタッフ等。

参加費 子どもの月 保護者 300円

メニュー例 クラウゼイス、ジャージーソーめん、チキンライスなど。



スタッフ丸となって調理をしています！

◆団体系
グッドモーニング仙川！プロジェクト 80,000円

◆助成内容
地域交流・生態保全・環境福祉を目的とした活動のための種蜂・巣箱レンタル費用に助成。

活動内容は蜜蜂観察学会や生態系学習、商店街ではみづの月販売、子ども社会科授業の教材の提供。

◆団体活動概要
2014年より地域プロジェクト「グッドモーニング仙川！」を立ち上げました。

①地域の環境活動をする「グリーンプロジェクト仙川」

②駅南口の緑化のために花を植える「せんがわ緑化」

③植えた花から蜂蜜でできる蜂蜜を地域で売っていただく「仙川みづぼろプロジェクト」を活動の柱として、誰もが参加できる街づくりを推進してきました。ゴミ拾い・お花摘み活動は、地域の自然環境や食のあり方を考えるきっかけにもなり、行政・学校等との協働により教育の場でも活動を展開しています。仙川をもっと楽しく、そしてよりよい住環境にするべく日々奮闘中です。

◆プログラム概要(報告)
【全体子どもプログラム 2017 仙川みづぼろの学校】

日時 2017年6月(日) 10:00～12:30

会場 仙川のまちセンター

プログラム「みづぼろ観察会」関連で種蜂とみづぼろを見て特徴を見つめました。

「みづぼろの暮らし講座」みづぼろの生態や山崎前町の養蜂の歴史を学びました。

「蜂蜜はちみつプロジェクト」通しの観察会を通じてみづぼろの蜂蜜を試食してみました。

「はちみつプロジェクト」蜂蜜を練ったオリジナル石鹸を作りました。

参加者 親子11名 担当講師 尾島樹雄、仙川みづぼろプロジェクト主宰



男子更衣室、女子更衣室、広間の計3ヶ所に設置しました

奥行きがあるので、ハンガーを掛けやすくなっています



ふみ月チャレンジ染地の外観



食卓前の看板です！



本日のメニュー！



巣箱の中にはたくさんのミツバチが！



みづぼろを観察中！何か発見できるかな...

◆センター応援コメント
ふみ月チャレンジ染地では知的障がいのある中高生を対象に放課後等デイサービス事業を行い、「教育」に重点を置いています。

見学当日は宿泊の事前学習として、布団を「敷く」「たたむ」練習をしていました。敷布団の時に合わせて掛布団をうまく配置することは、利用者の方にとっては難しいことです。職員の方と利用者の方の信頼関係のもと、チャレンジして課題を克服していきます。

布団を上手に「敷く」時の利用者の皆さんの笑顔から、達成感、満足感が伝わってきます。とりぐち最後は、お茶やドリンクなどでリラクゼーションの時間があり、無理なく楽しく教育を行っているのが印象的です。

えんがわファンドの助成対象となった特注ハンガークラークも、教育活動の一環として、制服のプレーザーをハンガーに掛けられるようになっています。保護者の方のご要望に受け止めて、自動動作のついでに必要感を感ずる機会に恵まれました。何回も練習し、練習をして、1人で掛けられるようになることは、利用者の方の「自決」という達成感につながります。その達成感から自信を得て、認められる生き方を学んでいきます。

「誰かがいる子どもたちの親戚生活を送る生活を送るとき、生き生きと過ごすことができるために」施設長の朝香さんはおっしゃっていました。今後も、日常動作の練習を通して生き生きと活動することを通して、利用者の方が増えていくのではないのでしょうか。

「居場所」としてだけでなく「成長する場」として、利用者の方の喜びが満ち溢れる施設となるよう応援したいと思います。

◆センター応援コメント
今年1月オープンした「こりょう子ども食堂わいわい」。

ボランティアさんは20名程度、子どもたちも手作りの温かい料理を食べてもらい、スタッフ丸となって運営しています。

見学当日、メニューの一つはジャージーソーめん、トッピングのニンジンと豆腐は量形に切っており、こんなふうにたまたま出来たもの、少しくても美味しく食べてほしいという思いが伝わります。子ども同士、家庭環境など多岐の方々が来ている。中には3世代で食事に来た家庭もいて、楽しそうに話しかけ合っている。みんなが食べるという思い、そんな声が聞こえてくるような雰囲気を感じました。

今回の助成対象である炊飯器は、「1(さん)の子どもたちにも、いつまでも温かいて飯を提供したい」との思いから購入に至りました。現在、調布市内では30軒の子ども食堂が集まって、会議を開き、情報交換や、アイデア・課題の共有をしています。

子どもにとって食事はする場所の選択の1つとなり、そこで地域の大人と顔の見える関係ができる。それが地域のみんなと暮らすことを見守っていくことに繋がります。子ども食堂にはそのような力があるのではないのでしょうか。

「きょうのごはん、ひとりだなんだ。そんな時にフツと立ち寄れる『みんなであわい』と楽しめる空間がほほえましく、子どもたちと笑顔を感じるまちづくりが実現しています。

みんなで食べるおいしいね！

◆団体の目的としての「住む人誰もが、街のゲストから、キャスト(出演者)へ」

◆センタースタッフ応援コメント
花を眺めてみづぼろを観、みづぼろが花蜜を吸って蜂蜜を生成。その蜂蜜を人間が採集する。そしてまた花を眺める。人と自然が共生する環境が自然と形成されていきます。今回の調達は子どもたちみづぼろの生態を知りたい、自然と共生したい、自然と共生を学び取ってみたいという思いで開催されました。

「みづぼろは大変難しいんだ」「みづぼろはスズメバチと違って危険じゃないんだ」「採れたての蜂蜜で濃厚で美味しい！参加した子どもたちがそれぞれ学び取ったことを一緒に語り合っている姿が印象的でした。自然を正しく理解することが自然と共生の第一歩だと感じます。

ゴミ拾いから始まった「グッドモーニング仙川プロジェクト」。「グリーンアップ仙川」そして清掃をする中で駅前の緑がかなたに感じ、せんがわ緑化部の活動が始まりました。その緑化した花から蜂蜜をとるというから立ち上った「仙川みづぼろプロジェクト」。蜂蜜は「おはせせんがわ」が夏祭りしてレモネードにして販売しました。

想いは常に仙川の街を美しく、より良い住環境にすること。その思いを優しく継ぐとともに、さらに魅力ある街づくりへの貢献に役立てています。

えんがわファンド
その2
助成団体レポート

調布のボランティア市民活動や資金とつながり、助成する市民活動支援センターの活動報告です。ファンド、前号に続き、団体の活動報告です。それと分野は違っても、地域をより良くするために、それぞれの想いを通しました。あんなにも地域のために何か始めてみませんか。いつでも相談してください。

市民活動支援センター 小宮



遠く分譲地に巣箱を入れてます(ぐるぐる回ってはこちらを取っ払います)



とうり濃厚な蜂蜜が！



みんな一生懸命にいます！みんさん、なるほど...

オリジナル石鹸作り！「きれいになくならないな...」